

親子聖書日課

NO.1964 2026.5/17-23

名前

[日]トマスは礼拝を休んだので、復活の主に会えませんでした。一日ぐらい休んでもいいと思っははいけません。信仰とは、見たから信じるのではなく、見ないで主の約束だけを信じることです。主と主の言葉に聴き従うなら、信仰はわかります。

[月]魚が取れない弟子達のために、主は食事を用意されました。復活の主は、常に弟子達と共にいて、あらゆる必要を満たして下さいます。ですから、心配は無用です。喜んで主の弟子になって、主の言葉に聴き従い、霊の糧に与りましょう。

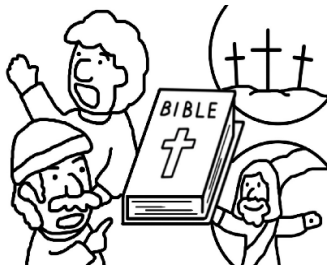
[火]ここは牧師への勧めではありません。信仰者は、羊であると共に、羊飼いです。親には子ども、分級のリーダーにはクラスのメンバーという羊が託されています。「主の羊」ですから、主に喜ばれるように、御言葉に聴き従って、育てましょう。

[水]使徒言行録は、弟子達の伝道の記録で、ペトロ、パウロが中心に描かれています。しかし、本当の主人公は聖霊です。ですから「聖霊言行録」とも呼ばれます。聖霊の力を頂く時、誰でも主を大胆に証することができ、信じる人が起こされます。

[木]主が天に昇られた後、聖霊が降るまでの10日間、弟子達は心を合わせ、熱心に祈り合いました。そこに聖霊が降り、多くの人が救われ、教会が生まれました。私達も熱心に祈り合うなら、聖霊が降り、大いなる御業がなされることでしょう。

[金]主が復活してから50日目(ペンテコステ)に、聖霊が降ると、ふしぎなことに外国語で話し出しました。これは弟子達の語学力ではなく、聖霊の力によりました。「神の偉大な業」である主の十字架と復活を語る時、戸惑いも起きるのです。

[土]ダビデは主よりも千年前の人でしたが、「いつも目の前に主を見て」いました。どんなに多忙でも、主との交わりは絶やしませんでした。主を信頼していたので、不安は消え、喜びに満たされました。主との交わりこそ、第一にすべきことです。



	聖書	問題	答え
日	ヨハネ 20:19-31	どうしないのに、信じる人は、幸いですか。	
月	21:1-14	ペトロが網を陸に引き上げると、何匹もの大きな魚でいっぱいでしたか。	
火	21:15-25	主はペトロに、何を飼いなさいと言われましたか。	
水	使徒言行録 1:1-11	あなたがたの上に何が降ると、力を受けますか。	
木	1:12-26	心を合わせて熱心に何をしていましたか。	
金	2:1-21	一同は聖霊に満たされ、何が語らせるままに、他の国の言葉で話したか	
土	2:22-36	ダビデはいつも目の前に誰を見ていましたか。	
感想と祈りの課題			